

# 九州連携、活性化を

## 各県議会議員研究交流研究会 九州各県議会議員研究交流研究会 地方分権で提案

九州各県議会議員研究交流大会が2日、大分市内であった。8県から約160人が参加した。

今回で8回目。主催した

九州各県議会議長会の原口創生会長（福岡県議会議長）は「地方の声を反映する真の地方分権を求め、九州広域行政機構の設立を目指そ

う」と呼び掛けた。

関西学院大学経済学部の林宜嗣教授が「広域行政と地方議会」と題して講演。

国から権限や財源が移譲される分権時代の地方議会について「首長と異なり複数の議員がいるという多様性を生かし、最少の経費で最大の効果が出る施策を考え



講演を聞く各県議会議員

ていく必要がある」と強調。九州では今後、人口減少が進むことを踏まえ、複数の県や企業が連携し経済の活性化を図ることを提案した。

続いて由布院温泉観光協会の桑野和泉会長が「九州の観光まちづくり（由布院版）」と題して講演した。